

ステークホルダーからのメッセージ

豊田ケミカルエンジニアリングの環境への取り組みについて



限られた貴重な資源を
最大限有効活用して、
持続可能な地球環境や
社会の構築に貢献

トヨタ自動車株式会社 プラント・環境技術部 生産環境室長
長濱 弥生様



当社は、事業活動すべての領域を通じて、積極的に環境負荷を低減し、社会・地域の持続可能な発展に貢献するため取り組みを進めております。1992年に「トヨタ地球環境憲章」を策定、2015年にはトヨタの地球環境に対する2050年までの長期的な取り組みとして「トヨタ環境チャレンジ2050」を発表し、3つのCO₂ゼロチャレンジと3つのプラスへのチャレンジの6つのチャレンジに取り組んでいます。これらの活動を通じて、SDGsが掲げる持続可能な社会の実現をめざし、カーボンニュートラル、循環型社会の実現や、生物多様性の保全などに向けた企業活動を推進してまいります。

特にモノづくりに於いては、徹底的な省エネルギーの推進と低CO₂製造技術の開発・導入、再生可能エネルギーの利用を加速していくこと、加えて新たなエネルギー資源として期待される水素の積極利活用によって、カーボンニュートラルの実現に向けた取り組みを推進しています。これらの活動には、関連するステークホルダーの皆様と相互理解を深め、広げていくことが大切だと考えております。

豊田ケミカルエンジニアリング様には、特に循環型社会の実現に向け、当社の日々の生産活動に伴って発生する産業廃棄物を適切かつ安全に処理しリサイクルすることで、「ゼロエミッション」に向けた取り組みを支えていただいております。貴社は環境管理システムの国際規格「ISO14001」や労働安全衛生マネジメントシステム「OSHMS」の認証を取得し、環境保全や安全衛生に対し高い水準を維持されており、更に広く当地域のリサイクルシステムの構築に資されていることも頼もしく思っております。また、当社の製品分野に於いても、電動車の電池の処理技術を確立いただきしており、ハイブリッド車電池のリサイクルに貢献いただいております。

当社は今後も「幸せを量産する」というミッションと「可動性(モビリティ)を社会の可能性に変える」というビジョンのもと、モビリティーカンパニーをめざし、全方位、フルラインナップのモノづくりを加速していく中で、循環型社会の実現に向け、豊田ケミカルエンジニアリングの皆さんとともに、チャレンジを着実に進めてまいりたく、貴社への大きな期待を膨らませています。今後とも貴社が、地球環境保全や地域社会への貢献、循環型社会の構築を牽引する企業として、更なる飛躍を遂げることを願い、トヨタグループとともに持続可能な社会の実現に向けた歩みを進めていっていただきたいと思います。